

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 12月 1日

事業所名 多機能型事業所Gootela

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	71%	29%	フロアを分けて活動することで環境を調整している	活動ごとにフローアを分けることで、環境を整えることを継続
	2	職員の配置数は適切である	29%	71%	非常勤職員の勤務回数を増やしている	余裕を持った職員の配置と求人継続
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	57%	43%	開設時に1階の支援室はバリアフリーに改装	階段に滑り止めがないため、設置を検討。 児童用いすを新規購入。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	71%	29%	日々の清掃で清潔を心がけている	年齢や活動を考慮して過ごす空間を作ることを継続
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	67%	33%	業務分担とICTを活用	ICTの苦手な職員への研修を検討
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている			今回初めて実施	実施中
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している			実施中のため未公開	実施予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%	外部評価については検討中	今後検討していきたい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	内部研修、自治体の研修への参加の機会を作っている。	法定研修、事業所内部研修の確保を継続
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	面談で保護者からの聞き取りを考慮して支援計画を作成している	継続
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	50%	50%	チェック形式にしている	必要に応じてアセスメントツールの修正を検討
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	保護者様との面談ですり合わせて、提供すべき支援の内容を計画に記載している	継続
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	情報共有を行っている	継続
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	常勤間で定期的に立案している	チームでの立案を継続
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	83%	17%	5領域を組み込んで半年ごとに見直しをしている	継続
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	個別と小集団が組み合わせられた計画に基づき活動をしている	継続

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	100%	0%	打ち合わせの時間と作っている	継続
	18	67%	33%	退勤が早い職員は申し送り事項を入力している	継続
	19	100%	0%	職員間でチェックして記録をつけるような工夫をしている	記録をつけることに時間を要するため、定時退勤できないことが課題
	20	86%	14%	年2回実施	半年ごとに保護者と面談をしてモニタリングと計画の見直しを実施することを継続。
関係機関や保護者との連携	21	83%	17%	児童発達支援管理責任者が出席	継続しながらも専門的職員の参加ができる体制を作っていく
	22	100%	0%	連携会議以外でも電話での情報共有を行っている	保護者様にご協力をいただいて進めていくことを継続
	23			該当なし	該当なし
	24			該当なし	該当なし
	25	100%	0%	対面、オンラインなどで連携を実施している	保護者様にご協力をいただいて進めていくことを継続
	26	80%	20%	対面、オンラインなどで連携を実施している	保護者様にご協力をいただいて進めていくことを継続
	27	60%	40%	積極的に研修を受ける	継続
	28	33%	67%	イベント参加で交流の機会を作っている	実施していることは継続しながらも利用者ニーズがあれば交流を広げていくように検討
	29	50%	50%	職員全員に周知し、参加希望を募っている	参加すると利用者受け入れに間に合わなくなる場合があるため、参加者は限定される場
	30	100%	0%	メッセージのやりとりができるツールを活用している	継続
	31	50%	50%	専門的支援の職員が中心に行っている	継続しながら一般職員も携わるようにしていく。
	32	83%	17%	契約面談で十分な時間をとって説明するようにしている	継続
	33	100%	0%	面談で保護者からの聞き取りとアセスメントを考慮して支援計画を作成して同意を得ている	アセスメントに加え面談で聞き取りをして作成することを継続

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	メッセージのやりとりができるツールを活用している	日常的に保護者様とのコミュニケーションと随時の相談を継続
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	60%	40%	イベント参加での保護者交流の機会を作っている	保護者様からの要望があれば連携の機会を増やすことを継続
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情につながる前段階で情報共有をして迅速な対応を心がけている	情報共有の徹底を継続
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	80%	20%	SNSを活用している	発信を増やすことを検討
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	職員間で相互チェックを行っている	情報の取り扱いを厳重に行うことを継続
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	視覚情報での連絡を活用	丁寧な対応を心がけることを継続
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	80%	20%	イベント実施の際に計画している	継続
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	職員間では定期的に回覧、保護者には配信で周知	各種マニュアルとBCPについての研修を継続
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	60%	40%	机上訓練と実施訓練を複数回実施している	非常時に備えて備蓄品と訓練を継続
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	利用開始前に対応についての調査を実施している	継続
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	利用開始前に対応についての調査を実施している	継続
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	回覧をして情報共有をはかっている	日々の振り返りからも事案の確認を継続
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	委員会設置し、チェックシートなども活用している	継続
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	委員会を設置、保護者様へ面談で説明している	基本的には身体拘束は行わないことを指針として継続

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。